

■第1章－概説■

587年、当時の有力氏族である蘇我（そが）氏と物部（もののべ）氏の政治的な確執が、用明天皇崩御後の皇位継承問題で、武力衝突に発展しました。

その際、蘇我氏側にいた聖徳太子が戦勝を祈願して四天王のための寺を造ることを発願したのが、四天王寺の始まりとされています。

四天王寺は、難波津（なにわづ）と河内・斑鳩（いかるが）・飛鳥を結ぶ主要ルート上に位置します。まさに、難波の玄関口です。

四天王寺は、洗練されたわが国の仏教文化を対外的に示すモニュメント的な役割を果たしていたのです。